

令和7年度 校内研修計画

- 1 令和7～8年度の研究主題
一人一台タブレットやそのアプリを活用し、生徒の伝え合う力を高める指導の研究と実践
- 2 研究のねらい
 - ICT機器やタブレットの活用についての研究を通して、教員の授業力向上や、生徒の学習意欲の向上を目指す。
 - 「心の教育」の柱となる道徳授業の研究を通して、教員の授業力向上を目指す。
- 3 研究の方法
 - 研究組織 研修委員会及び全教職員
 - 取組の内容
 - ① ICT機器や一人一台端末の活用についての研究を通して、教員の授業力向上や生徒の学習意欲向上を目指す。
 - ・ 教育機器（一人一台のタブレット、PC、デジタル教科書、電子黒板等）を積極的に授業に取り入れ、主体的・対話的で深い学びを実践できるよう適切な授業改善をおこなっていく。
 - ・ 研究授業を始め、授業を観あう期間を設定するなどして、様々な授業方法を学べる機会をつくる。
 - ・ ICT機器の様々な活用方法や、新しい学習アプリの研修を通して、授業中や自宅で生徒がタブレットを活用できる環境を整える。
 - ② 「心の教育」の柱となる道徳授業の研究を通して、教員の授業力向上を目指す。
 - ・ 道徳の研究授業を通して、様々な授業方法を学べる機会をつくる。
 - ・ 講師などを活用して、最新の道徳教育について学ぶ機会をつくる。
 - ③ 特別支援教育への理解を深め、個に応じた支援ができる体制をつくる。
 - ・ 学年の生徒の情報共有や講師の活用を通して、特別支援教育の理解及び推進を図る。
 - ・ 支援センターなどの様々な外部機関を活用し、状況に応じた支援が行えるようにする。
 - ④ その他の研修
 - ・ 服務研修
 - ・ 情報研究（ベネッセ：4回）
 - ・ 研修のまとめ
- 4 研究計画
 - 授業研究 年3回（道徳1回、6教科（国・数・英・社・理・体）：2回）
3年間で上記の6教科の授業研究を行う。道徳は第1学年が担当する。

年度	教科	道徳
R06	社会・理科	1年
R07	国語・体育	1年
R08	数学・英語	1年

○ 授業を観あう期間の設定

1学期	第2学年、第3学年
2学期	第1学年

- ・ 研修委員会で設定した期間で、担当する学年が授業を行う。他学年は空き時間を活用してその授業を参観する。
- ・ 授業者は略案を作成する。見学者は授業見学シートに授業の良い点を記入し、授業担当者 と研修委員会担当者に渡す。

○ 講師の依頼（道徳、特別支援、QUの活用など）

5 令和7年度 校内研修会の予定

回	日	曜日	内容	講師等
1	4/1	火	サービスに関する研修	校長
2	4/4	金	特別な配慮を要する生徒の対応等の情報交換、特別支援教育について、評価について	各担当
3	4/16	水	ICT機器活用研修 要配慮生徒情報交換（1年）	協力：ベネッセ担当者
4	5/2	金	情報モラル教育研修	協力：ベネッセ担当者
5	7/17	木	サービスに関する研修	校長
6	9/4	木	研究授業（国語・ICT）及びICT活用研修	国語科
7	11/19	水	研究授業（体育）	体育科
8	12/17	水	情報セキュリティ研修	協力：ベネッセ担当者
9	12/24	水	サービスに関する研修	校長
10	2/4	水	研究授業（道徳）	第1学年
11	3/11	水	入試に関する報告、研修のまとめ、来年度の研修について	各担当